

広報

ばらいろにかがやいて

ふくやま

7
JUL.
2007
臨時号

FUKUYAMA INFORMATION

概要版

第四次福山市総合計画／前期基本計画

にぎわい しあわせ あふれる躍動都市 ～ ばらのまち 福山 ～



プリンセスふくやま



福山城



ローズふくやま



芦田川



チャーミーふくやま



ばら公園



ラブリーふくやま



弁天島(鞆の浦)



ビューティフルふくやま

チャレンジふくやま 新たなる創造と飛躍

市制施行100周年に向けた 新たなまちづくり

1916年(大正5年)7月1日 市制施行

福山市ホームページ

<http://www.city.fukuyama.hiroshima.jp/>

スマイルふくやま

ごあいさつ

私たちのまち福山市は、2006年(平成18年)7月1日に市制施行90周年を迎えました。

市制施行から今日まで、本市は、温暖な気候と海、山、川などの豊かな自然、また先人たちが築いてこられた歴史と伝統といった地域資源などを活かしながら、備後の中核都市として発展を続け、50万都市が有する都市機能は着実に整ってきました。

しかし、今日、急速な少子高齢化、人口減少社会への移行や本格的な地方分権時代の到来など、社会構造の大きな転換期を迎えており、行財政を取り巻く環境の厳しさと相まって、本市においても、今後の予測困難な時代を乗り切るための大変重要な時期となっています。また、近隣町との合併により、広大な市域を有することとなり、それぞれの地域ごとに地域の特性を活かした一体的な発展をめざしたまちづくりを行っていかねばなりません。

こうした社会経済情勢や多様化する市民ニーズ、地域課題を的確に見極める中、自立した持続的発展力のあるまちづくりを進めるため、これまでのまちづくりの基本理念である「人間環境都市」を継承するとともに、新たに「にぎわい しあわせ あふれる躍動都市 ～ばらのまち 福山～」を将来都市像とする、第四次福山市総合計画を策定

しました。

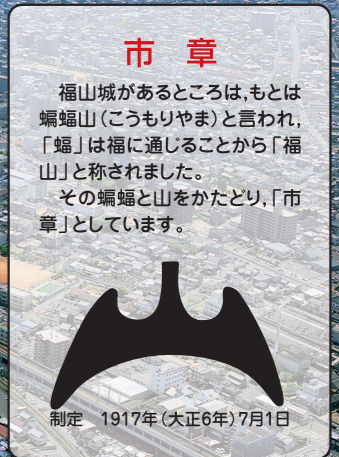
この計画は、市制施行100周年に向けた新たなまちづくりの指針として位置付けるもので、「チャレンジふくやま 新たな創造と飛躍」をキャッチフレーズに、行政自らが改革へのためまぬ努力を行い、市民の皆様とともに「自らのまちは自らつくる」という協働によるまちづくりを進め、中国・四国地方の拠点都市として、拠点性と求心力を備えた都市機能の更なる充実に取り組んで参ります。

今後とも、「福山市に住んで良かった」と思えるように、健康でいきいきと安心して暮らせるまちづくりの推進に全力を尽くして参りますので、市民の皆様の御理解と御協力をお願い申し上げます。

最後に、計画策定に当たりまして、多大な御尽力や貴重な御意見を賜りました福山市長期総合計画審議会委員の皆様を始め、市民アンケート、市民説明会や中学生意見交換会などを通じて貴重な御意見、御提言をお寄せいただいた市民の皆様に対し、心から感謝申し上げます。



2007年(平成19年)7月 福山市長 羽田 皓

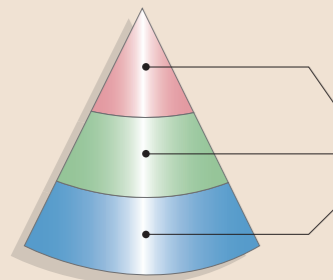


チャレンジふくやま 新たな創造と飛躍

【第四次福山市総合計画】とは？

第四次福山市総合計画は、将来を担う子どもたちを始め、地域のすべての人々が、「住んで良かった」と福山市を胸を張って誇ることができるよう、個性豊かで自立したまちづくりを実現するための指針となるものです。

計画の期間は、2007年度(平成19年度)から2016年度(平成28年度)の10年間とし、基本構想・基本計画・実施計画で構成しています。



総合計画の構成・期間

- 基本構想…めざす都市像,基本的な施策のあらまし(10年後を想定)
- 基本計画…部門ごとの取組(前期・後期に分けて各5年間分を計画)
- 実施計画…具体的な計画(3年間分を計画)

	2007年度 (平成19年度)	2011年度 (平成23年度)	2012年度 (平成24年度)	2016年度 (平成28年度)
基本構想	基本構想 (10年間)			
基本計画	前期基本計画(5年間)		後期基本計画(5年間)	
実施計画	実施計画(3年間)	実施計画(3年間)	実施計画(3年間)	実施計画(3年間)

※毎年度見直しを行い、向こう3年間の実施計画を立てる。

市制施行
100周年

目標年度

2016年度
(平成28年度)

まちづくりの基本理念

人間環境都市

- 生命の尊厳と人類の共存を基本とする恒久平和の維持
- 何人も侵すことのできない永久の権利である基本的人権の尊重
- 市民本位の行政の推進

めざす都市像

にぎわい しあわせ あふれる躍動都市
～ばらのまち 福山～

ご存じですか？現在の福山市

福山市の強み(優れている点)

(広域的な視点)

- ・高速道路や鉄道,空港など,広域交通網による国内外へのアクセスが優れています。
- ・古くから県境を越えた近隣市町との地域連携の実績があります。

(社会経済状況)

- ・大手メーカーやオンリーワン,ナンバーワンなどの特色ある企業が多く立地し,ものづくりに強いまちです。
- ・保育所,幼稚園,子育て応援センターなど,子育て支援環境が充実しています。
- ・1小学校区に1公民館が整備され,協働のまちづくりの拠点となる施設が整備されています。

福山市の人口・面積等

■ 国民基本台帳人口 / 463,794人 (2007年(平成19年)7月1日現在)
 ■ 外国人登録者数 / 6,225人 (2007年(平成19年)7月1日現在)

面積 / 518.07平方キロメートル
 1998年度(平成10年度)から中核市



瀬戸内の十字路口に位置



ものづくりに強いまち



子育て支援事業(りんごルーム)

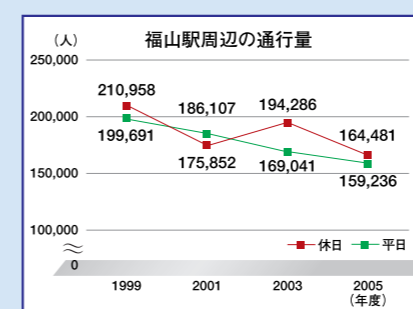
福山市の弱み(解決すべき点)

(広域的な視点)

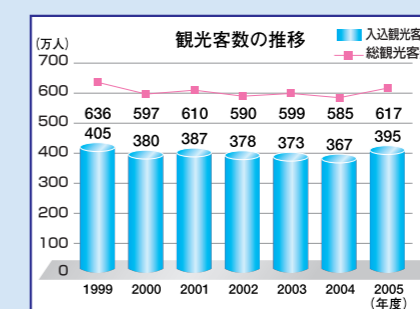
- ・中心市街地は人通りが減少し,空洞化が見られます。
- ・都市の規模に比較して全国的な知名度が低く,観光客が伸び悩んでいます。

(社会経済状況)

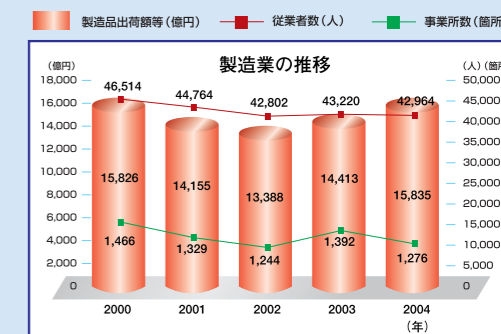
- ・人口増加の停滞による都市活力の低下のおそれがあります。
- ・世帯当たり人員の減少や単独世帯等の増加など,コミュニティの機能低下のおそれがあります。
- ・事業所数や従業者数が減少傾向にあります。



中心市街地の空洞化



観光客数の伸び悩み



事業所数や従業者数の減少

10年後の福山市は…

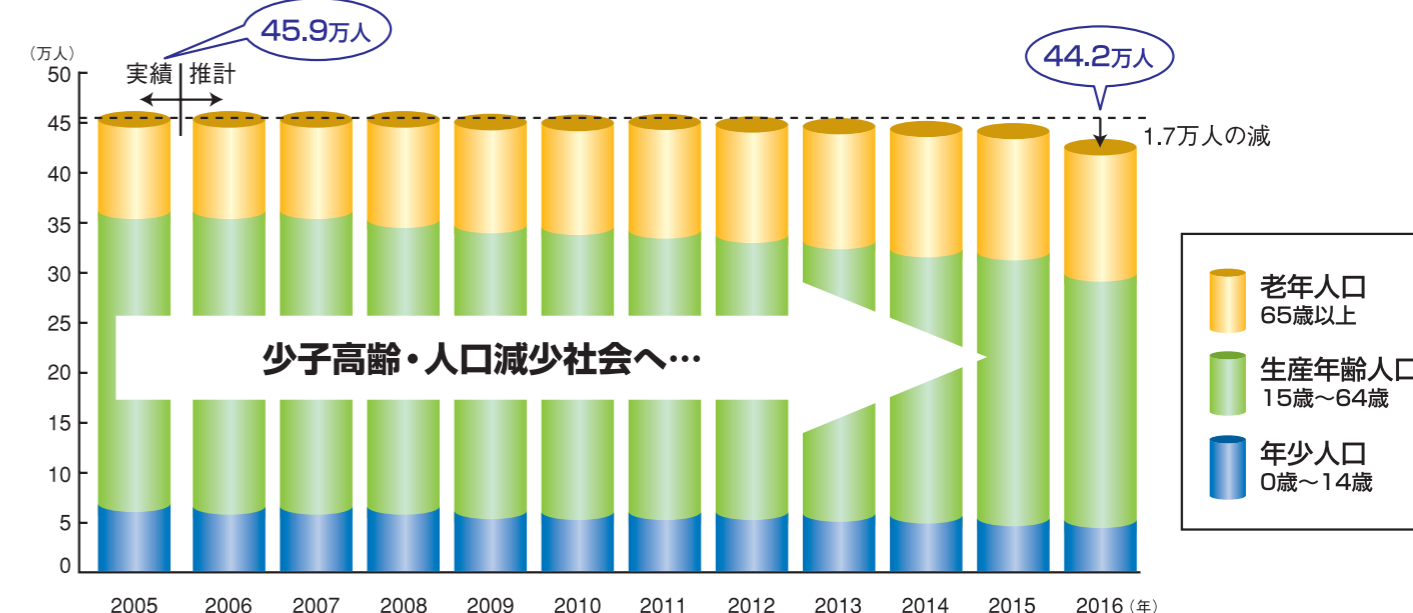
かつてないスピードでの少子高齢時代への突入,人口減少社会への移行,地方交付税などの国の財政支援の縮小,団塊の世代(おおむね1947年(昭和22年)から1949年(昭和24年)ごろまでに生まれた人々)の大量退職など,社会構造の大きな転換期を迎えており,福山市も例外ではありません。

10年後の目標とする都市像「にぎわい しあわせ あふれる躍動都市 ～ばらのまち 福山～」を実現させるためには,こうしたこれからの社会を展望し,時代の潮流に的確に対応していくことが不可欠です。

また,福山市の「強み」を活かし「弱み」を克服することにより,個性豊かな「福山らしさ」をアピールできるまちづくりを進めていく必要があります。

福山市の人口及び年齢構成の推計

(2005年(平成17年)総務省「国勢調査報告」に基づく)



少子高齢・人口減少社会へ…

1.7万人の減

基本構想

基本構想は、総合計画の最上位に位置します。
今後10年間のまちづくりについて、
基本的な考え方を示すものです。



◀瀬戸内海でとれる桜鯛(さくらだい)です。
毎年5月に「鞆の浦」で開催される「観光鯛網」は、
370年の伝統を誇る漁法で、その勇壮さ、華麗さは
目を見張るものがあります。



「にぎわい しあわせ あふれる躍動都市 ～ばらのまち
福山～」を実現し、住んで良かったと実感できるよう、
こんなまちづくりを進めます。

▼まちづくりの基本方針

「協働のまちづくり」を実践し、
地域力を高める



地方分権時代に対応した「自立」
したまちづくりを進める



「人づくり」を進め、新たな文化
や産業などを創造する



福山を積極的・継続的に発信し、
「都市ブランド力」を高める



※
◀福山駅南口に立つ、通称「釣り人の像」。
待ち合わせ場所の目印にされています。



▼まちづくりの基本目標 (めざすまちの姿)

だれもが安心して安全で
快適に暮らせるまち

安心・安全・環境

子どもが健やかに育ち、
だれもが健康でいきいきと
暮らせるまち

保健・福祉・医療

多様に学び、
文化をはぐくむまち

教育・文化

産業の力みなぎる活力と
にぎわいのあるまち

活力・交流

市民とともにつくる
自立したまち

協働・行革

▼まちづくりの基本施策 (実現方法)

- ・ 人間としての尊厳や自由を尊重する人権文化が根付いた地域社会の実現
- ・ 安心して安全に生活できる地域社会づくりの推進
- ・ 自然と調和したうるおいとゆとりのある環境と景観の形成 ・ 快適な暮らしを支える生活基盤の整備
- ・ 地球にやさしい環境づくりと循環型社会の形成

- ・ 子どもが健やかに生まれ育つ環境づくりの推進 ・ 高齢者の豊かで実りある生活を支えるまちづくりの推進
- ・ 障害のある人の自立と安心を支えるまちづくりの推進 ・ いきいきと暮らせる健康づくりの推進
- ・ だれもが安心して生活できる社会保障制度の適正な運営

- ・ しっかりと学び豊かな心をはぐくむ学校教育の充実
- ・ 楽しく集い学びの輪を広げる生涯学習の推進 ・ 個性あふれる地域文化の継承と創造
- ・ 健やかな心と体を培うスポーツ活動の推進

- ・ 独自技術で明日をひらく工業振興と新産業の創造 ・ 人、モノ、情報が行き交う交流拠点機能の強化
- ・ 拠点性と風格のある中心市街地の整備 ・ にぎわい楽しむまちを演出する商業の振興
- ・ 地域資源で人をひきつける観光の振興と交流の促進 ・ やりがいをもち夢かなえる就業環境づくりの支援
- ・ 地域特性を活かした農林水産業の振興 ・ 福山らしさの創出と発信

- ・ 都市内分権の推進と市民と行政との協働による自立した都市の確立
- ・ 自立を持続する健全な行財政運営の推進
- ・ 中国・四国地方の拠点都市にふさわしい広域行政の推進

基本計画

前期:2007年度～2011年度
(平成19年度) (平成23年度)
後期:2012年度～2016年度
(平成24年度) (平成28年度)

■基本計画は、めざすまちの姿(基本目標)の実現に向けて、具体的な取組を示すものです。

■基本計画の実現には、市民や企業、団体などと行政とが協力し合いながら取り組むこと(協働)が大切です。

重点的に取り組む10のプラン

“チャレンジ ふくやま” 躍動プラン

実施計画全体を実現していくための先導的な役割を持ちます。基本構想で示した5つの柱に沿って作成しています。

安心・安全・環境

- (1) だれもが安心・安全なまちプラン
- (2) 地球環境にやさしいまちプラン
- (3) 快適に暮らせるまちプラン

- 市民一人ひとりが、お互いの人権を尊重し信頼できる人間関係を築きます。
- 犯罪や自然災害などから市民の命や財産を守るため、総合的な危機管理体制を確立します。
- 市民、事業者、行政がそれぞれの役割に応じて環境保全活動を行い、豊かな自然環境を守ります。
- 集中豪雨などによる浸水防止のため、雨水対策施設などを整備します。

保健・福祉・医療

- (4) まちぐるみ子育て応援プラン
- (5) みんなで健康いきいきプラン

- 妊産婦・乳幼児の訪問支援や健康相談・健康診査の充実などに取り組めます。
- 家庭での子育てを地域全体で支え合う取組により、子育て環境を充実します。
- 高齢者への介護予防事業や社会参加活動への支援、障害者自立支援法への対応などに取り組めます。

教育・文化

- (6) 次世代を担う人づくりプラン

- 市民の生涯学習、能力開発の意欲への対応などの取組により、地域社会に貢献できる人材を育てます。
- 確かな学力と豊かな心を育てるとともに、福山の将来を担う人材育成に取り組めます。

活力・交流

- (7) にぎわい・交流創出プラン
- (8) 産業の力みなぎるまちプラン
- (9) 「福山らしさ」あふれるまちプラン

- 人やモノが行き交う交流拠点機能を高め、拠点性と求心力を備えたまちづくりを進めます。
- 若年者や団塊世代などの就業支援を充実させ、産業の元気なまち「ふくやま」をめざします。
- 「福山らしさ」を全国に発信するなどの都市ブランド戦略を進め、だれもが知っているまち、訪ねてみたいまちをめざします。

協働・行革

- (10) みんなが主役のまちプラン

- コミュニティ活動の場の確保や市民の主体的な活動の支援を進めます。
- 市民と行政が対等な立場で補完し合い協力し合って、自主・自立のまちづくりに取り組めます。

計画期間中に取り組む主な事業 について紹介します

安心・安全・環境

- ◎下水道施設整備事業
中央ポンプ場を整備し、市街地を浸水から守ります。



保健・福祉・医療

- ◎救命救急センターの機能充実
市民病院は、救命救急センターを運営しており、地域の中核病院として地域医療の充実を図ります。



教育・文化

- ◎(仮称)中央図書館建設事業
中央図書館と生涯学習活動の交流拠点となる施設となります。



活力・交流

- ◎鞆地区道路港湾整備事業
鞆に暮らす人たちの安全性や快適性を向上させ、多くの人々が訪れ、活力とにぎわいを創出できる事業として推進していきます。



活力・交流

- ◎福山駅前広場整備事業
中国・四国地方の拠点都市の玄関口にふさわしい魅力とにぎわいのある交流拠点を形成します。



協働・行革

- ◎(仮称)福山市西部市民センター建設事業
支所機能、ホール機能、生涯学習機能や図書館機能などを備えた地域の拠点施設となります。



今後5年間のまちづくりについて

お話ししましょう。

前期基本計画について…

安心・安全・環境

だれもが安心して安全で快適に暮らせるまち

すべての人の基本的人権が尊重され、生命や財産が守られ、自然と共生した快適な環境の中で暮らすことは、まちづくりの基本です。

【目標】

■人間としての尊厳や自由を尊重する人権文化が根付いた地域社会の実現

人を大切に、みんながいきいきと幸せに生活できるまち
男女が性別にかかわらず個性と能力を十分に生かせるまち
だれもが暮らしやすさを実感できるまち

■安心して安全に生活できる地域社会づくりの推進

犯罪のない安心して暮らせる安全なまち
台風、地震などの自然災害や大規模な事故、事件などの非常事態から市民を守るまち
火災や事故などに素早く対応し、市民の生命や財産を守るまち
交通事故のない安心して暮らせる安全なまち
市民が安心して消費生活が送れるまち

■自然と調和したうらおいとゆとりのある環境と景観の形成

都会的な雰囲気と福山の歴史や文化、自然を感じることができるまち
いきいきとした緑のあふれるまち

■快適な暮らしを支える生活基盤の整備

人や車が安全に道路を利用できるまち
いつでもどこでも安心して水道の水が飲めるまち
きれいな川や海で遊ぶ子どもたちの姿が見られるまち
住み心地の良い住まいに、住み続けることができるまち
市民が安心できる、斎場・墓苑・墓地が整備されたまち
すべての人が気軽に利用できる公共交通網が整備されたまち

■地球にやさしい環境づくりと循環型社会の形成

人と自然が共生する美しいまち
「もったいない」の心を踏まえた循環型のまちづくり



【絶滅の危機!「スイゲンゼニタナゴ」】

広島県内では芦田川水系のみに生息し、環境庁のレッドデータブック(1991年(平成3年))において絶滅危惧種に選定され、広島県野生生物の種の保護に関する条例(1995年(平成7年))で指定野生生物種(11種)に指定されています。

本種は、淡水にすむイシガイ科の二枚貝に卵を産みつける習性があり、自然環境の変化に影響を受けやすく、絶滅の危機に瀕しています。

基本計画(前期)2007年度(平成19年度)~2011年度(平成23年度)

こんなまちづくりを進めます

- 学校、地域、職場などで人権や平和に関する教育や啓発活動を進めます。
- 男女共同参画を推進するリーダーとなる人材を育成し、相談体制を充実します。
- ユニバーサルデザインの視点による公共施設整備など、利便性や安全性を高めます。
- 防犯パトロールの実施や「こども110番の家」の充実など、地域ぐるみで安全を守ります。
- 災害時に迅速で的確な対応が行えるよう、地域の実情に応じた防災対策に取り組み、自主防災組織と連携し、総合防災訓練を実施します。
- 歩道の設備や交差点改良などを行い、道路の安全性を高めます。
- 情報通信網など、防災施設や消防施設の整備を行います。
- 身近な公園の整備や公共施設の緑化を進めます。
- きれいな川をとり戻すため、公共下水道施設を計画的・効率的に整備します。
- 集中豪雨などによる都市型浸水を防ぐため、雨水対策施設を整備します。
- 市民生活を支える生活バス交通の維持・確保を行います。
- 環境の保全に関する施策の総合的かつ計画的な推進を図るため、福山市環境基本計画をつくります。
- 行政自らが、率先して省エネルギー、省資源に取り組み、ごみの減量・リサイクル活動の支援を行います。
- ごみ問題や地球の温暖化について、環境保全活動を総合的な観点から実践できる団体、指導者を育成します。



人権平和資料館での学習風景



環境教育風景

市民として

- 人権問題にかかわる研修などへ積極的に参加しましょう。
- 見守り活動などを通じて、安心で安全なまちをつくりましょう。
- いざというときのために、避難経路・避難場所の確認や防災用品を備えましょう。
- 身近な木々や草花を大切に、庭などで草花を育てましょう。
- 公共交通機関をみんなで支え育てましょう。
- 「もの」を大切に、ごみを出さない生活を心がけましょう。
- 電気やガスなどの省エネに努めましょう。
- 油や野菜くずを流さないなど、下水道を正しく使いましょう。



総合防災訓練

5年後(2011年度)の主な目標

【自主防災組織数】

72組織(2006年度) → 81組織

【公共下水道の処理人口普及率】

61.9%(2005年度) → 68.0%

【ごみの年間排出量】

176,989t(2004年度) → 164,000t

保健・福祉・医療

子どもが健やかに育ち、だれもが健康でいきいきと暮らせるまち

少子高齢社会において、すべての人が生涯健康で生きがいを持ち、幸せな人生を送り、また、家庭や地域で子どもが健やかに育てられる社会は市民共通の願いです。

【目標】

■子どもが健やかに生まれ育つ環境づくりの推進

子どもを安心して生み育てられるまち
生まれて良かった、子育てをして良かったと思えるまち
かけがえのない「命」をみんなで守り育てるまち

■高齢者の豊かで実りある生活を支えるまちづくりの推進

高齢者が住み慣れた家庭や地域で生きがいを持って安心して暮らせるまち
安心して介護サービスを受けることができるまち
いつまでも自立していきいきと楽しく暮らせるまち

■障害のある人の自立と安心を支えるまちづくりの推進

障害のある人が地域でいきいきと活動できるまち
障害のある子どもが仲間とともに育ち合うまち

■いきいきと暮らせる健康づくりの推進

すべての人が健やかで心豊かに生活できるまち
食文化を大切に、バランスのとれた食生活を実践するまち
感染症予防・医療体制が充実し、市民が安心して生活できるまち

■だれもが安心して生活できる社会保障制度の適正な運営

健全な医療保険・年金制度を運営しているまち
健康で文化的な最低限度の生活が保障されるまち



「健康ふくやま21」のマスコットキャラクター「ふくっぴー」です。

【健康ふくやま21】

「生活の質の向上」と「安心できる母子保健」をめざした、市民の皆さんが主役の健康づくり計画です。
計画期間は、2003年度(平成15年度)～2012年度(平成24年)までの10年間で、2007年度(平成19年度)に中間評価を行います。

【子育て支援ボランティア】(愛称:キラキラサポーター)

「健康ふくやま21」にもとづく事業の1つで、市民が安心して妊娠・出産・子育てができるよう、市の保健師と連携してサポートしています。
市が実施する養成講座を受講した後、地域で声かけ訪問などの子育て支援活動を行っています。

基本計画(前期)2007年度(平成19年度)～2011年度(平成23年度)

こんなまちづくりを進めます

- 育児に関する不安やストレスを和らげる取組を進めます。
- 様々な保育ニーズに対応し、安定した保育サービスを提供します。
- ひとり親家庭の生活の安定・向上のために、就労支援など自立に向けた取組を進めます。
- 児童虐待防止対策を充実します。
- 高齢者が住み慣れた地域で生活を送ることができるよう、地域包括支援センターの機能を充実します。
- いつまでもいきいきと暮らせるよう、介護予防事業や健康づくりを充実します。
- 認知症の人やその家族の状況に応じたサービスを提供します。
- 障害のある人が地域の一員として自分らしく生活できるよう、ともに活動できる機会の提供を進めます。
- 障害のある人の経済的な自立に向けた支援体制を進めます。
- 保育所、幼稚園、学校や療育機関などが協力して、発達段階を通じて一貫した相談・指導体制の充実に努めます。
- こころに不安や悩みを抱えている人などへの健康相談などを実施します。
- 子どもから高齢者まで生涯にわたった食育に取り組みます。
- 三次救急^{*}やがん医療などの高度医療の提供、災害等における医療供給体制を確保します。

^{*} 三次救急：集中治療や緊急手術が必要な重症な救急患者に対し、高度な医療を総合的に提供する医療体制のこと



放課後児童クラブ



障害福祉サービス



老人大学での学習風景

市民として

- 安心して子どもを生み育てられるよう、子育てを地域全体で支えましょう。
- 子育てをしやすい職場環境づくりを行いましょ。
- 地域で一人暮らしの高齢者などを見守りましょ。
- 介護保険制度を有効に活用して、みんなで支えましょ。
- 介護予防の教室などに積極的に参加ましょ。
- 障害や障害のある人に対する理解を深めましょ。
- 自分に合った健康づくりを行いましょ。



さわやか運動教室

5年後(2011年度)の主な目標

【子育てに対する不安や負担を感じる人の割合】

就学前児童の保護者60.8%(2003年度) → 50%以下
小学生児童の保護者56.1%(2003年度) → 50%以下

【運動不足と感じている人(成人)の割合】

77.7%(2001年度) → 50%以下

教育・文化

多様に学び,文化をはぐくむまち

人づくりはまちづくりの原点ともいわれ,すべての人が生涯を通じていつでも,どこでも学ぶことができる社会は,自己実現だけでなく,これからの地域を支える力となります。また,国際化に対応して異文化理解を図るとともに,福山市独自の地域文化を育て,新たな文化を創出することは,まちへの愛着と誇りにつながります。

【目標】

■しっかりと学び豊かな心をはぐくむ学校教育の充実
自ら学び,考え,行動する「生きる力」をはぐくむまち

■楽しく集い学びの輪を広げる生涯学習の推進
すべての青少年が健やかにはぐくまれるまち
心の豊かさや生きがいのために,だれでも学べるまち

■個性あふれる地域文化の継承と創造
子どものころから,音楽・絵画・書など文化や芸術に親しむ豊かな感性をはぐくむまち
文化財を大切にし,子どもたちに引き継ぐまち

■健やかな心と体を培うスポーツ活動の推進
市民が1週間に1回以上,運動する習慣があるまち



二上りおどり
(福山夏まつり)



お手火まつり(沼名前神社)
(鞆町)



とんど祭り
(沼隈町)



しごん 素立のお祇園祭(素立鳴神社)
(新市町)



ふたこづか
二子塚古墳(駅家町)

【福山市の文化財】

福山市には,国宝に指定されている明王院の五重塔を始め,万葉の昔から潮待ちの港として栄えた鞆の浦に伝わる古い町並みやお手火まつりなど,有形・無形の多種多様な文化財が数多くあります。

また,福山市北部には古墳が点在し,県内最大規模の「二子塚古墳」は,歴史的価値も高く評価されています。

これらの文化財の保護と活用に取り組んでいきます。

基本計画(前期)2007年度(平成19年度)~2011年度(平成23年度)

こんなまちづくりを進めます

- 子どもの個性を伸ばす幼稚園教育や子どもの安全対策を充実します。
- 児童・生徒の個性を尊重し,豊かな人間性や社会性,道徳性をはぐくむ学校教育を進めます。
- 少人数指導等を推進することにより,児童,生徒に確かな学力を培うとともに,生徒指導の充実を図ります。
- 地域の総合力を高めるために,四年制大学の設置に取り組みます。
- 快適な教育環境の整備・充実を図ります。
- 青少年の温かい心と豊かな感性をはぐくむため,共同体験などを通じた家庭や地域の取組を支援します。
- 多様な学習機会や生涯学習情報を提供するとともに,拠点となる公民館や図書館を整備します。
- 文化活動を促進するため,文化活動団体の支援や文化を担う人材の育成に努めます。
- 各種文化財の保存と活用の充実を図るとともに,文化財に対する保護意識を高めます。
- 生涯スポーツ活動を推進するとともに,競技団体などへの支援を行い,競技力の向上をめざします。



ふくやま美術館

市民として

- 学校教育活動を支援するとともに積極的に参加しましょう。
- 大人は青少年に手本を示し,青少年は社会のルールを守りましょう。
- 生涯にわたって学び,成果を活かしましょう。
- 「文化財は,私たちの財産である」という意識を持ちましょう。
- 健康・体力づくりのため,自分に合ったスポーツをしましょう。



【ふくやまマラソン】

競技力の向上と生涯スポーツ活動の推進を目的に開催され,25年以上の歴史があります。毎年,早春の芦田川沿いに設けられたコースを,全国各地から迎えた選手とともに多くの市民が駆け抜けます。

5年後(2011年度)の主な目標

【基礎基本定着状況調査の正答率】

小学校:国語75.4%,算数78.4%(2006年度)

中学校:国語80.9%,数学68.8%,英語72.5%(2006年度)

すべて80%以上

活力・交流

産業の力みなぎる活力とにぎわいのあるまち

産業はまちの活力の源泉です。活力ある産業は地域を元気にします。福山には優れた技術力や伝統を持つ産業や、オンリーワン、ナンバーワン企業の集積、アジアに広がる港湾機能、高速交通網の結節点などの優位性があります。多様な地域資源を更に発掘し、磨き、有効に活用し、福山らしさとして発信することが地域の発展にもつながります。また、中国・四国地方の拠点都市の玄関口にふさわしい風格ある中心市街地の整備や交流基盤の整備を推進することが、新しい文化を生む契機となります。

【目標】

■独自技術で明日をひらく工業振興と新産業の創造

企業が進出したいと感じる優秀な人材や高度な流通機能のあるまち
地元企業が国際的に活躍できるまち
起業家精神をはぐくむ、開かれた風土のあるまち

■人、モノ、情報が行き交う交流拠点機能の強化

交通渋滞のないまち
多くの人とモノでにぎわう港のあるまち
ITをまちづくりに活用した生活の便利なまち
市民が世界の人々とともに生きるまち

■拠点性と風格のある中心市街地の整備

活力とにぎわいのあるまち

■にぎわい楽しむまちを演出する商業の振興

だれもが、見て・歩いて・楽しめるまち

■地域資源で人をひきつける観光の振興と交流の促進

だれもが再び訪れてみたい観光交流のまち

■やりがいをもち夢かなえる就業環境づくりの支援

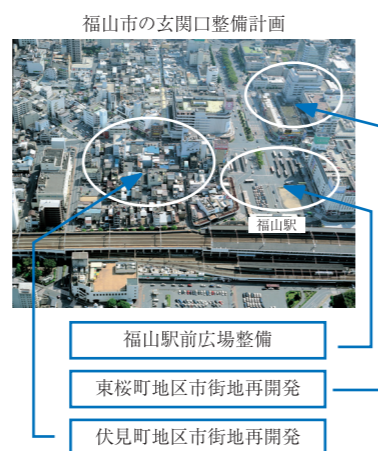
だれもが生きがいをもって働くことのできるまち

■地域特性を活かした農林水産業の振興

新鮮で安全な農産物が生産され、自然とふれあうことができるまち
新鮮な水産物を安定して市民の食卓に届けることができるまち

■福山らしさの創出と発信

だれもが知っているまち「福山」



福山市の玄関口整備計画

福山駅前広場整備

東桜町地区市街地再開発

伏見町地区市街地再開発



【弁天島花火大会(鞆の浦)】

瀬戸内に初夏が訪れる5月の終り、弁天島の夜空に花火が打ち上げられます。

基本計画(前期)2007年度(平成19年度)~2011年度(平成23年度)

こんなまちづくりを進めます



【福山琴】

福山市は、江戸時代から続く「琴」の生産地で、現在、国内生産の約70%を占めます。楽器では初めて国の伝統的工芸品に指定され、2006年(平成18年)には「福山琴」として、地域団体商標(地域ブランド)の認定を受けています。

- 新たな企業の進出を促進するため、支援制度を拡充するとともに産業団地の整備など、立地環境を整備します。
- 中小企業の人材育成や経営基盤を強化するとともに、起業家やオンリーワン、ナンバーワン企業を支援、育成します。
- 物流拠点機能を強化するため、福山港箕沖地区の国際コンテナターミナルの整備及び尾道糸崎港機織地区の港湾整備を促進します。
- 都市の拠点性強化と交通渋滞緩和のため、幹線道路網整備を促進します。
- 福山駅周辺地区の整備及び市街地再開発事業などにより、中国・四国地方の拠点都市の玄関口として、魅力とにぎわいのあるまちづくりを進めます。
- 観光客が再び訪れたいように、観光にかかわる人材の育成やふるさとへの良さを再発見できる取組などを進めます。
- あらゆる人の就業機会の拡充に努め、就業の場が確保できるよう支援します。
- 農業の担い手の育成や農産物のブランド化による地産地消を進めます。
- 歴史・文化遺産などの豊富な地域資源やものづくりに強い本市の特長を全国に発信するとともに、ばらのまちづくりを進め、全国に名のとおる「ばらのまち」をめざします。

* 地産地消：地域で生産された食材をその地で消費すること

【ふくやまSUN】

福山市内の農家が自信と責任を持って生産した農産物に表示されるふくやまブランド農産物のシンボルマークです。現在「くわい」「あんず」など22品目が認定されています。



おせち料理でおなじみの「くわい」は、福山市の生産量が日本一です。



市民として

- 地場産業の製品を利用しましょう。
- 観光客に心温まる対応をしましょう。
- 地産地消に協力し、地域農業を応援しましょう。
- 歴史・文化、ばら、海、技術など福山のキラリとする部分を知りましょう。

下駄の生産量が日本一の松永町では、毎年秋に下駄をテーマとしたイベント「ゲタリンピック」を開催しています。



5年後(2011年度)の主な目標

【福山駅周辺の通行量(休日)】

159,236人(2005年度) → 183,000人

【ふくやまブランド農産物出荷量】

2,246t(2005年度) → 2,700t

【年間総観光客数】

617万人(2005年度) → 660万人

協働・行革

市民とともにつくる自立したまち

まちづくりは市民や団体、企業等と行政とのパートナーシップ精神により、お互いが信頼し、知恵を出し、力を合わせて協働により進めていくことが必要です。また、行政にあっては、健全で効率的な都市経営とともに、広域的な連携の中で行政運営を進めていくことが必要です。

【目標】

■都市内分権の推進と市民と行政との協働による自立した都市の確立

地域の特性を活かした魅力あふれるまち
市民がコミュニティ活動に積極的に参加しているまち
政策や行政サービス情報が分かりやすく、迅速かつ的確に発信されるまち

■自立を持続する健全な行財政運営の推進

効率的、効果的な行政活動を進めるまち
いつでも、どこでも、だれでも行政情報サービスを受けられるまち

■中国・四国地方の拠点都市にふさわしい広域行政の推進

広域交流・連携により発展するまち



南公園（現在のばら公園）に約1,000本のばらの苗を植え、ばらのまちづくりが始まりました。



現在の「ばら公園」
1.5haの敷地に、280種、5,500本のばらが咲き誇っています。

【ばらのまちづくりは協働の原点】

戦災により荒廃したまちに潤いを与え、人々の心に安らぎを取り戻そうと、南公園（現在のばら公園）にばらを1本1本持ち寄り植えたのが「ばらのまちづくり」のスタートです。
その後、行政も加わって整備が進められ、現在の「ばら公園」に生まれ変わりました。
こうした市民と行政との取組が、協働のまちづくりの原点となっています。



【協働の花】（協働のまちづくりイメージデザイン）

福山市を象徴する「ばら」の花をモチーフに、人々が集いともに支えあい、より良いまちづくりに参加する様子をデザインしたものです。

基本計画(前期)2007年度(平成19年度)～2011年度(平成23年度)

こんなまちづくりを進めます



【福山ばら祭】

福山市の花「ばら」が咲き誇る5月、ばら公園・緑町公園を中心に開催される「福山ばら祭」は、市民と行政との協働による全市的なイベントです。祭の期間中は、「ごみゼロ」をめざしたクリーン活動など中学生から高齢者まで幅広い世代のボランティアが活躍しています。

- （仮称）福山市西部市民センターや鞆支所などの地域活動を支援する施設の整備や機能を充実します。
- 市ホームページなどを通じて、市政や地域のまちづくりなどに関する情報を提供するとともに、まちづくり出前講座などを行い、市民とともに力を合わせて協働のまちづくりを進めます。
- 地域住民が主体となって活動しやすい環境づくりを行います。
- 財政運営の健全化を図り市民のニーズに沿ったまちづくりを行うため、引き続き、行政内部の効率化やコスト削減を進め、より良い行政サービスを効率的、効果的に提供していきます。

市民として

- お互いを認め合う中で、私たちがまちづくりの主役である自覚を持ちましょう。
- 私たちの住んでいるまちの地域活動に参加しましょう。

【福山市民憲章】

- 1 心に太陽をもち 胸をはって元気に働きましょう
- 1 小さな親切を 勇気をもって行いましょう
- 1 きまりを守り よい習慣をつくりましょう
- 1 子どもたちのために 明るい家庭と美しい町をつくりましょう
- 1 文化を育て 健康で平和な社会を築きましょう
- 1 人権を尊重し 差別のない人間関係をつくりましょう

1966年(昭和41年)11月3日 制定
1983年(昭和58年)4月1日 改定

「福山市民憲章」は、私たちが福山市民であることに誇りと責任を持ち、お互いの幸せを願い、よい市民となるための心のよりどころとなるものです。

5年後(2011年度)の主な目標

【自治会(町内会)加入率】
72.3%(2005年度) → 75%

ばらと潮風, 歴史のかおる 観光交流のまち 福山

～だれもが住んでみたい, 行ってみたいと思えるまち～

ばらのまち ふくやま

検索

<http://www.city.fukuyama.hiroshima.jp/>



【交通アクセス】

- JR在来線・新幹線
「福山駅」
- 高速道路(山陽自動車道)
「福山東IC」「福山西IC」
- 広島空港～リムジンバス
岡山空港～リムジンバス
「福山駅」



ほんの一例です!

見どころ

1 福山城 [ふくやまじょう]



1619年, 水野勝成が備後10万石の領主となって築いたお城です。周辺は美術館・博物館などがある文化ゾーンとして整備されています。

2 明王院 [みょうおういん]



807年, 弘法大師の開基と伝えられ, 五重塔は全国の国宝塔の中でも5番目に古いもので, 本堂と共に国宝に指定されています。

3 ばら公園



空襲で荒廃したまちに潤いをもたらすために住民の手でばら苗が植えられたのが始まりです。280種5,500本のばらが咲き誇っています。

4 廉塾・菅茶山旧宅 [れんじゅく・かんちやざんきゅうたく]



京都で朱子学を学んだ江戸時代後期の儒学者・菅茶山が郷里の神辺に帰って開いた塾です。頼山陽が塾頭を勤めていたこともありました。

5 日本はきもの博物館



日本一の下駄の産地「松永」にある, 日本で唯一の「はきもの」専門の博物館です。国の重要文化財も数多く収蔵しています。

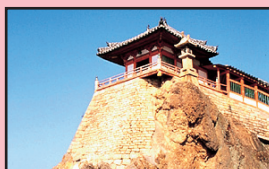
6 鞆の浦 [とものうら]



瀬戸内海国立公園を代表する景勝地です。古くから潮待ちの港として栄え, 朝鮮通信使が「日東第一形勝」と称えました。史跡も数多く残されています。

7 阿伏兔観音 [あぶとかんのん]

(磐台寺観音堂)
[ばんたいじかんのんどう]



沼隈半島の先端に建つ朱塗りの観音堂は国の重要文化財です。航海安全・子授け・安産の観音様として知られています。

第四次福山市総合計画(概要版)

発行日: 2007年(平成19年)7月18日

発行: 福山市 〒720-8501 福山市東桜町3番5号

編集: 企画総務局企画部企画課

☎928-1012